

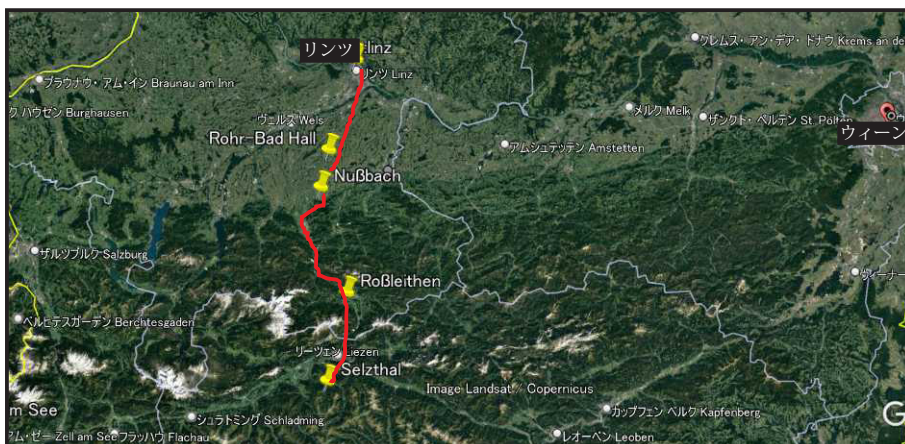
ピュールン線

ピュールン線はリンツ - ロール - パートハル - ゼルツタール鉄道線であり、オーバーエスターライヒ州とシュタイアーマルク州の連邦州の大部分を横断し、オーストリア連邦鉄道によってコアネットワークの一部として数えられています。Linz - Klaus 区間は、当初、民間の Kremsthal Railway Company によって地方鉄道として建設されました。1901 年から 1906 年にかけて、州はこの地方鉄道を使用してピュールン線を建設しました。Tauernbahn、Karawankenbahn、Wocheinerbahn、および Gorizia ルートと一緒に - トリエステとウェッヒセルバーン、それはオーストリアの主要鉄道網における最後のギャップ閉鎖の一部でした。

距離 104km 最大勾配 26 ‰



2006 年 オーストリア発行
ピュールン線 100 周年切手
1906-----2006 年



<https://de.wikipedia.org/wiki/Pyhrnbahn>

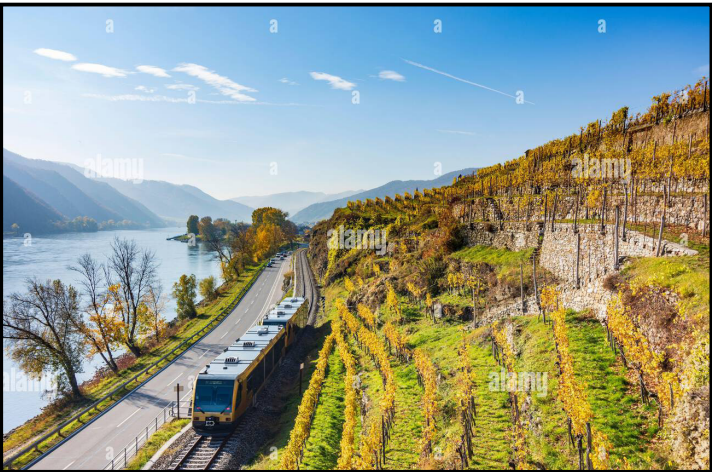
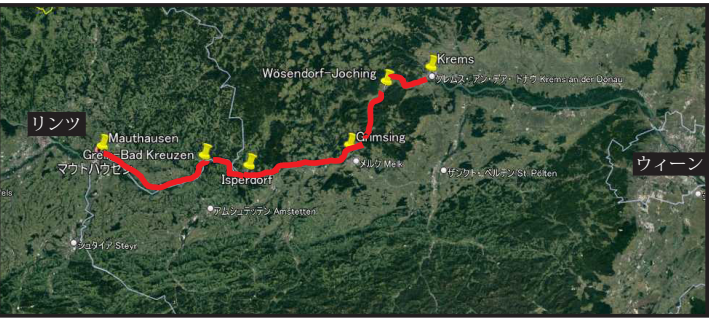
ドナウ河畔線

ドナウ河畔線はオーストリアの鉄道路線で、ザンクトバレンティンからクレムスまで、主にドナウ河沿いを走っています。クレムス・アン・デア・ドナウとエマースドルフ・アン・デア・ドナウの間の区間はヴァッハウを通り抜けています。そのため、この地域ではドナウ河畔線はヴァッハウまたはヴァッハウ・バーンとも呼ばれ、ヴァッハウ世界遺産地域の文化財です。

路線総延長 108 km 最大勾配 22 ‰



2009 年 オーストリア発行
ドナウ河畔線 100 周年切手
1909-----2009 年



ウェッヒセル鉄道

Wechselbahn は、ニーダーエスターライヒ州とシュタイアーマルク州の Aspang から Friedberg までの鉄道路線です。アスパンク線とテルメンバーン（フリードバーグからフェーリングまで）およびピンカタルバーン（フリードバーグからオーバーヴァルトまで）を接続します。鉄道路線は、東端のハルトベルク（メーニツヒキルヒェン近く）を走るウェッヒセル山脈にちなんで名付けられました。



2010 年 オーストリア発行
ウェッヒセル鉄道 100 周年切手
1910-----2010 年



<https://de.wikipedia.org/wiki/Wechselbahn>

シュタマースドルフ地方鉄道 廃線路線

現在 Weinviertel-Landesbahn としても知られている Stammersdorfer Lokalbahn は、ニーダーエスターライヒ州の Weinviertel 地域にある、長さ 29.196km の非電化支線でした。地方鉄道として認可されたこのルートは、オーストリア連邦鉄道 (ÖBB) によって最後に運営され、シュタマースドルフとグロースシュヴァインバルトを接続していました。旅客列車は、2019 年 12 月 14 日まで Obersdorf-Groß-Schweinbarth セクションを運行していました。29.196km 最大傾斜: 10 ‰



2011 年 オーストリア発行
シュタマースドルフ線 100 周年切手
1911-----2011 年

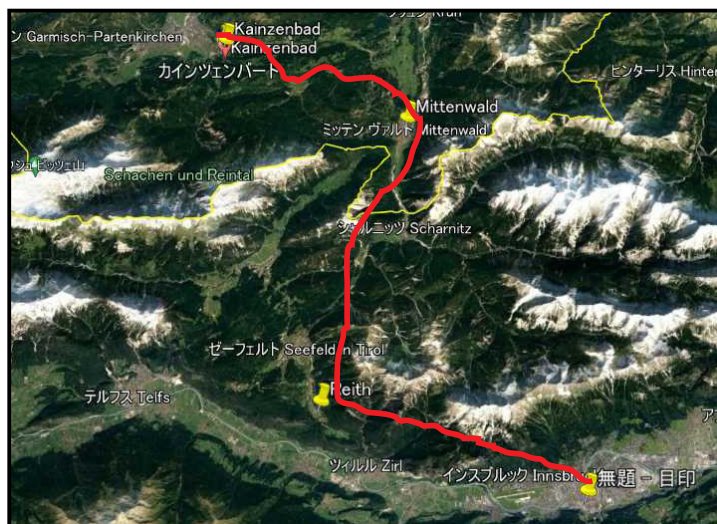


ミッテンヴァルト線

ミッテンヴァルト線は、カルヴェンデルバーンとしても知られています [2] [3] は、オーストリアとドイツのアルプスにある連続した単線の電化鉄道です。インスブルックは、ゼーフェルト（両方ともオーストリアのチロル）を經由して、ミッテンヴァルトとガルミッシュパルテンキルヒェン（両方ともドイツのバイエルン州）に接続しています。高圧単相交流で運用された最初の鉄道の1つでした。その結果、中央ヨーロッパの電気鉄道事業の基準に大きな影響を与えました。現在、ガルミッシュ・パルテンキルヒェンとインスブルックの間のルートの一部のみがミッテンヴァルト線と呼ばれ、アウサーファーン線と一緒にフェルン峠の反対側にあるアウサーファーンをチロルに接続しています。56.1km 38 ‰



2012 年 オーストリア発行 ドイツ発行
ミッテンヴァルト線 100 周年切手
1912-----2012 年



https://de-m-wikipedia-org.translate.google/wiki/Mittenwaldbahn?_x_tr_sl=de&_x_tr_tl=ja&_x_tr_hl=ja&_x_tr_pto=op,sc

アウサーファーン線

この路線はアルプス高地のケンプテンから始まり、そこからアルゴイ線とノイウルム - ケンプテン線が分岐する。列車はドイツ・オーストリア国境線を二度通過する。ロイテ - ハイターヴァング区間には一番長いカツェンベルクトンネルがあり、長さは 512 m である。最大勾配は 37.5 ‰に達する。貨物列車は主にセメント、木材などをフィルス - ガルミッシュ区間で輸送している。

93.9km 37.3 ‰



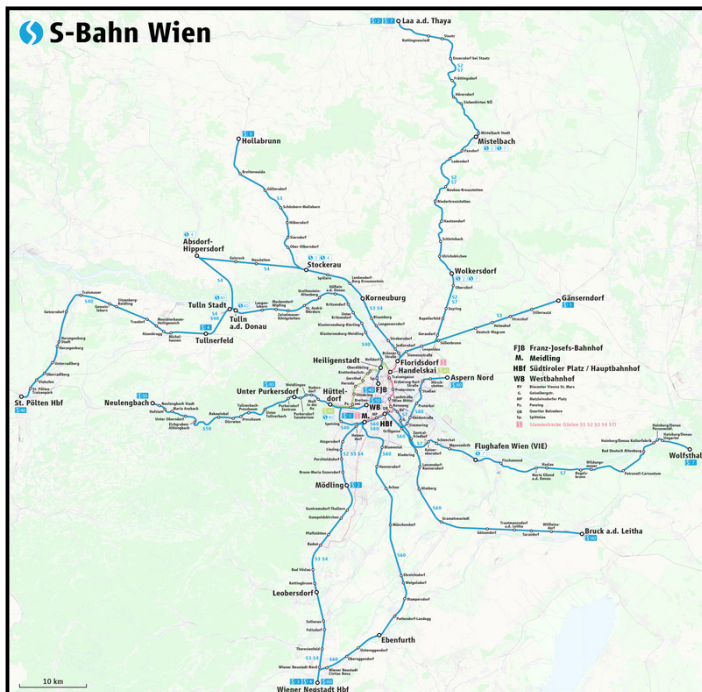
2013 年 オーストリア発行
アウサーファーン線 100 周年切手
1913-----2013 年



<https://de.wikipedia.org/wiki/Au%C3%9Ferfernbahn>

ウィーン S バーン

ウィーンには大規模な電車とバスのネットワークがあります。公共交通機関の利便性と柔軟性は、その人気に反映されています。ウィーンの労働者の53%は、公共交通機関で職場に移動しています。[1] 全体的なモーダルスプリットは、1993年にはそれぞれ29%と40%であったのに対し、2016年には39%の公共交通機関と27%の民間交通機関でした。[2] 市内の運賃はすべての公共交通機関をカバーしており、24時間、暦週、暦月など、さまざまな期間に利用できます。観光チケットと年間チケットもご利用いただけます。乗客は駅に乗車または入場する前にチケットを購入する必要があります。ただし、バスや路面電車では、機内でチケットを購入または検証できます。公共交通機関に入るときの切符の障壁や検査はありませんが、交通検査官は、多くの場合私服を着て、特定の路線でランダムな切符検査を行います。



https://en.wikipedia.org/wiki/Transportation_in_Vienna

グラーツ ----- ケーフラハ鉄道

西シュタイーマルク州で最も重要な鉄道 GKB です。特に通勤者や学童から非常に好評です。年間輸送量は現在、鉄道輸送で約 630 万人、バス運行で約 600 万人です。さらに、GKB はすべての列車で無料の自転車輸送を提供しています。

営業距離 91.257km



2010 年 オーストリア発行

グラーツ ----- ケーフラハ鉄道 100 周年切手

1910-----2010 年



グレンツランドバーン

グレンツランドバーン - ドイツとチェコ共和国の間の「国境地帯」
鉄道 ドレスデンとジェチーンのためのエルベ渓谷、セブニッツ
タルバーンとバートシャンドウの間のサクソンスイスリング

資料少なく不明な鉄路



2010 年 オーストリア発行
grenzland 鉄道 100 周年切手
1910 年 -----2010 年

ウェッヒセル鉄道

ニーダーエスターライヒ州アスパンからシュタイアーマルク州
フリートベルクまでのオーストリアの鉄道路線。鉄道路線は、
東端のハルトベルク（メーニツヒキルヒェン近く）を走るウェッ
ヒセル山脈にちなんで名付けられました。

21,473 km 22,5 %



2011 年 オーストリア発行
ウェッヒセル鉄道 100 周年切手
1911 年 ----- 2011 年



<https://de.wikipedia.org/wiki/Wechselbahn>

シュタインツ鉄道

Stainzerbahn または Lokalbahn Preding- Wieselsdorf -Stainz は、シュタイアーマルク州西部の狭軌鉄道です。シュタイアーマルク州の鉄道の以前のルートは、廃止された後、マーケットタウンのシュタインツに引き継がれ、その後「シュタインツフラッシュェンルツグ」**観光鉄道として運営**されています。線路の長さは 11.5km で、ゲージは 760 mm のシングルトラック（いわゆるボスニアゲージ）です。合計 12.7km の線路がサイディングで敷設されました。当初、9 メートルの長さのレールが敷設され（重量 17.9 kp / m）、6 トンの車軸荷重が許可されていました。その後、許容車軸圧力は 12t に増加しました。狭軌鉄道の建設には財政的配慮が決定的でした。標準軌鉄道の建設は 90,000 ギルダー高いと推定されました。[6] ルートの最も急な傾斜は 10‰で、最小の曲線半径は 100m です。



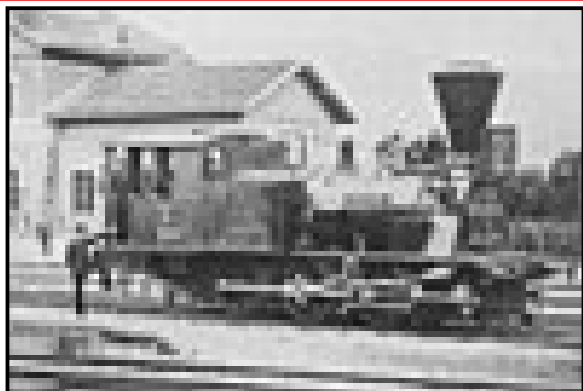
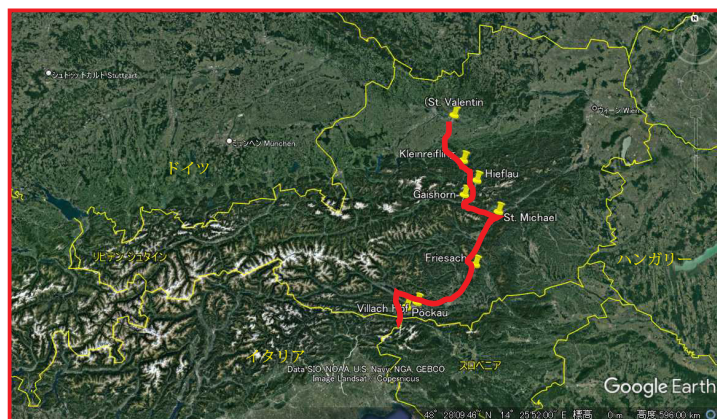
2017 年 オーストリア発行
ウェッヒセル鉄道 125 周年切手
1892 年 -----2017 年



クラウンプリンスルドルフ鉄道

1866年に設立され、ウィーンを拠点とするオーストリアの鉄道会社であり、そのルートは、オーストリア連邦鉄道とオーバーエスターライヒ州、ケルンテン州、シュタイアーマルク州、カルニオラ州にありました。現在、ルートネットワークの一部はスロベニアとイタリアにあります。]: ルドルフ鉄道は、オーストリアの南北アルパイン交差点の4つのうち、東は南部鉄道（ゼンメリング鉄道）、西はブレンナー鉄道とタウアーン鉄道と並んで3番目に形成されました。それはモラヴィアの製鉄所GebrüderKleinによって建てられました。

距離 407 km 勾配 22,8 ‰



https://de.wikipedia.org/wiki/Kronprinz_Rudolf-Bahn

<https://de.wikipedia.org/wiki/Rudolfsbahn>

グムンデン トラム

グムンデン - フォルヒドルフ地方鉄道（旧トラウンゼーバーン）は、2018年にグムンデン路面電車に接続して合併して以来、トラウンシートラムとして販売されており、オーバーエスターライヒ州のメーターゲージ地方鉄道です。2018年9月1日から、グムンデン駅（ÖBB）とフォルヒドルフ駅の間で運行されています。2018年9月1日、グムンデン市を經由した接続とグムンデン軌道線との合併が正式に開始されました。架空線の電圧は、SeebahnhofからEngelhofまで600ボルトに低下しました。[23] それ以来、直通列車はグムンデン駅からフランツ・ヨセフ・プラッツ、クロスタープラッツを經由してシーバーンホフ、そしてフォルヒドルフへと走っています。それ以来、ルート全体で平日は30分、週末は1時間ごとのサービスがあります。グムンデンの市街地でより密集した路面電車の時刻表がエンゲルホフに延長されました。



2017年 オーストリア発行
グムンデントラム 125周年切手
1894年 -----2019年



https://de.wikipedia.org/wiki/Lokalbahn_Gmunden%E2%80%93Vorchdorf

Raaberbahn

Raaberbahn または GySEV は、ハンガリーのショプロンに拠点を置くハンガリー - オーストリアの鉄道会社です。同社はハンガリー（65.6%）、[1] オーストリア（28.2%）の合併企業であり、オーストリア連邦鉄道（4.9%）が所有していますハンガリーでは GySEV-Sopron- Ebenfurti Vasút (GySEV) と呼ばれ、ドイツ語では Raab-Oedenburg-Ebenfurter Eisenbahn (ROEE) と呼ばれ、2008 年に Raaberbahn に名前が変更されました。



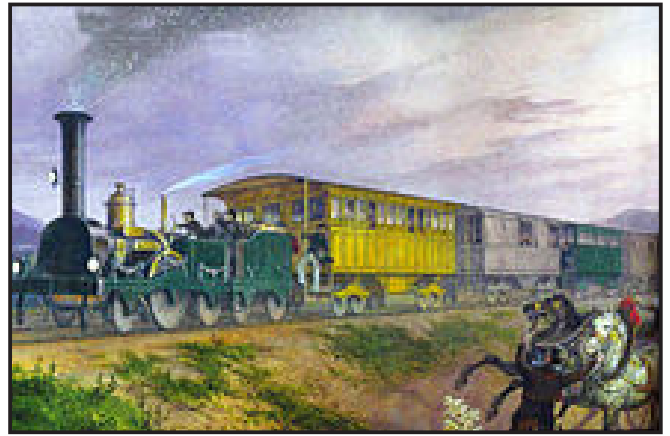
2022 年 オーストリア発行
RAAB 鉄道 150 周年切手
1872 年 ----- 2022 年



赤線は Raaberbahn の鉄路

Südbahn

サザン鉄道は、オーストリアの鉄道網の電化された幹線であり、今日、ウィーンからグラーツを経由してシュピールフェルトシュトラスまで走っています。オーストリアで2番目に混雑する鉄道路線であり、ヨーロッパで最も重要な輸送ルートの1つです。これは、ウィーンからグラーツとシュピールフェルトを経由して、当時のオーストリアの地中海の港であるトリエステまで走った、歴史的なオーストリア南部鉄道の北部です。この用語は、ルートを説明する ÖBB 自身の表現 Südstrasse と混同しないでください。



ブレゲンツァーワルト鉄道

一般に Bäumerbahn または Bäumerbähnle として知られている Bregenzerwaldbahn は、オーストリアの狭軌鉄道で、ゲージは 760 ミリメートル、いわゆるボスニアゲージです。フォアアールベルクの連邦州に位置し、1902 年から 1983 年まで、コンスタンツ湖のブレゲンツとブレゲンツァーヴァルトのベザウを 35.302 キロメートルの線で接続していました。現在、博物館の鉄道として運行されているのは 5.01 キロメートルの区間のみであり、残りの路線は閉鎖され、解体されています。ブレゲンツ森林鉄道は、オーストリアの狭軌鉄道で、線路長は 760 mm、いわゆるボスニア鉄道です。フォアアールベルク州を通り、1902 年から 1983 年までは、ボーデン湖のブレゲンツと、長さ 35.33 km の鉄道のブレゲンツフォレストのベザウを結びました。

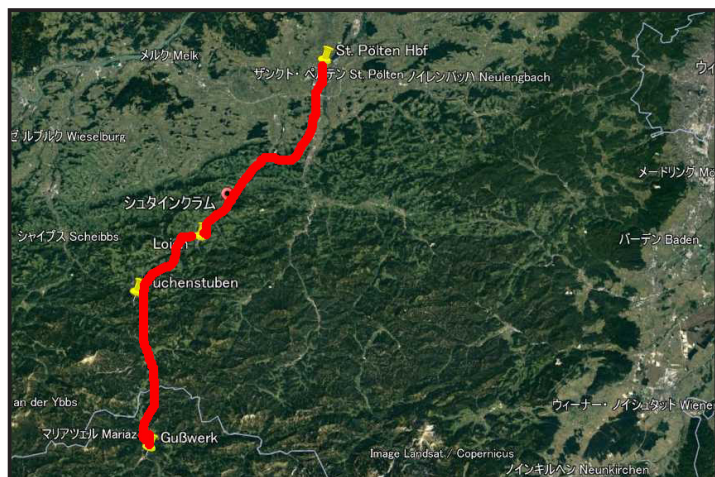
345m 642m

35.302km



マリアツェル線

ザンクトペルテンからマリアツェルまでのニーダーエスターライヒ州とシュタイアーマルク州の電氣的に運営されている狭軌鉄道 マリアツェル鉄道（略して MzB）は、オーストリアの 760 ミリメートル（ボスニア軌間）のゲージを備えた電化狭軌鉄道です。登山鉄道は、ニーダーエスターライヒ州の州都ザンクトペルテンとシュタイアーマルク州の巡礼地マリアツェルを結んでいます。もともとはグスヴェルクに続きました。元の正式な名前は、ニーダーエスターライヒ州-シュタイアーマルク州アルプス鉄道でした。



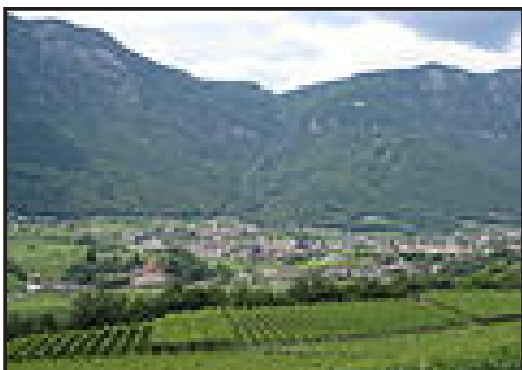
メンデル鉄道ケーブルカー

メンデル鉄道（イタリアの Funicolare della Mendola）は、南チロルのケーブルカーです。カルダーロのセントアントン地区からメンドーラ峠まで続き、南チロル輸送協会の一部です。

当初、鉄道は2つのセクションで構成されていました。今日のケーブルカー鉄道に加えて、カルターン駅からセントアントンまでの接続線はメンドラ鉄道としても知られていました。この部分は、ユーベレツェバーンと一緒に 1963 年に閉鎖されました。今日、鉄道は 12 分で 2370 メートルの距離にわたって 854 メートルの高度の違いを克服します。それは 510 メートルの高度で始まり、山の駅は 1364 メートルにあります。平均傾斜は 39% です。



長さ 2.37km
最大傾斜 64%
高低差 854 メートル



<https://de.wikipedia.org/wiki/Mendelbahn>

シャフベルク鉄道

シャフベルク鉄道（ドイツ語：Schafbergbahn）は、オーバーエスターライヒとザルツブルクにあるメーターゲージの歯車式鉄道で、ザンクトヴォルフガングイムザルツカンマーグートからシャフベルク（1,783 m）まで続いています。全長 5.85km で、高低差は約 1,200m になります。

